

国営総合農地防災事業 手賀沼地区

安全で安心な暮らしと、手賀沼周辺に広がる豊かな農村景観を次世代に

事業の目的

地域内の農地等を水害や干ばつから守る排水機場、揚水機場などは、昭和21年度から42年度にかけて国営手賀沼干拓事業等で造られました。

施設の完成から50年以上が経過した今、流域内における開発や周辺の地盤沈下によって、十分な機能が発揮できない状況にあります。

また、施設は耐震性を有していないため、大規模地震が発生した場合、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがあり、早急に対策が必要です。

本事業では、手賀沼地域の安心・安全を確保するため、これら排水機場、揚水機場などを改修します。



金山落水路(平成25年10月台風26号)



手賀排水機場



金山落水路の桜並木

事業の概要

- ・受益面積：3,845ha
- ・関係市：船橋市、松戸市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、印西市、白井市
- ・事業の期間：令和3年度～令和14年度(予定)
- ・総事業費：400億円(予定)
- ・関連事業費：241億円(予定)



お問い合わせ先
農林水産省関東農政局 手賀沼農地防災事業所
〒270-1323 千葉県印西市木下東2-4-1
☎ 0476-37-7140 FAX 0476-37-6772

施設名称	工事の概要
①手賀排水機場	機場の改修、排水ポンプの増強 (40.0m ³ /s→62.0m ³ /s)
②手賀第二揚排水機場(排水機)	機場の改修、排水能力の強化 (10.0m ³ /s)
③泉揚水機場	機場の改修、吐水槽の新設 (2.1m ³ /s→2.5m ³ /s)
④都部新田揚水機場	機場の改修(位置を変更) 吐水槽の新設 (0.9m ³ /s→1.1m ³ /s)
⑤小森揚水機場	機場の改修(位置を変更) 吐水槽の新設 (1.1m ³ /s→1.3m ³ /s)
⑥金山落水路	排水路の拡幅、堤防の嵩上げ (16.3m ³ /s→31.2m ³ /s)
⑦手賀沼調節水門	撤去

施設の整備内容

① 手賀排水機場

昭和31年に「東洋一」の排水能力を持つポンプ場として完成し、手賀沼流域の排水を休むことなく行っている重要な施設です。



現在の機場を使用しながら工事を行い、流域開発に対応した1.5倍のポンプ能力に造り直します。

新機場完成後は、現在の機場は撤去します。

手賀排水機場とともに洪水調節を行っていた手賀沼調節水門も撤去します。

② 手賀第二揚排水機場(排水機)

干拓事業で生まれた農地と湖北台や新木の住宅地からの排水を手賀川に排水しています。



約1mの地盤沈下と流域開発により排水能力が低下しており、現在の機場を使用しながら東側に沈下に対応した機場を造り直し、現在の機場は撤去します。

⑥ 金山落水路



昭和38年にコンクリート張りの水路として完成し、周辺の農地等からの排水を下手賀沼に排水しています。

地盤沈下と流域開発により、毎年湛水被害が発生しているため、倍の断面に水路を拡幅します。

干拓事業で整備された揚水機場は、完成以降、地域内の水田に用水を供給し続けています。

③ 泉揚水機場



手賀沼、手賀川、金山落水路周辺の農地に水を送っています。

現在の機場を使用しながら東側に造り直し、新たに現在の円筒分水工付近に吐水槽を設置し、現在の機場は撤去します。



④ 高野山(滝下)揚水機場 (改名:都部新田揚水機場)



手賀沼周辺と利根川沿いの農地に水を送っています。

現在の機場は土砂がたまりやすく、市街化も進んでいることから、都部新田に機場を造り直し、名称を「都部新田揚水機場」に改め、新たに五本松に吐水槽を設置し、現在の機場は撤去します。

⑤ 小森揚水機場



下手賀沼周辺と神崎川沿いの農地に水を送っています。

現在の機場は金山落水路からの土砂がたまる位置にあることから現在の機場を使用しながら下流側に造り直し、新たに平塚に吐水槽を設置し、現在の機場は撤去します。